

研究機関名：東北大学

受付番号： 2015-1-774
研究課題名 小児ネフローゼ症候群の疾患感受性遺伝子及び薬剤感受性遺伝子同定研究
実施責任者（所属部局・分野等・職名・氏名）： 病院・小児科・講師・熊谷 直憲
研究期間 西暦 2016年2月～ 2021年1月
対象材料 ■過去に採取され保存されている人体から取得した試料 □病理材料（対象臓器名： ） □生検材料（対象臓器名： ） ■血液材料 □遊離細胞 □その他（ ） ■研究に用いる情報 ■カルテ情報 □アンケート □その他（ ） 対象材料の採取期間：西暦 2013年7月～ 2016年1月 対象材料の詳細情報・数量等： （対象疾患名や数量等の詳細を記すこと。多施設共同研究の場合は、全体数及び本学での数量等を記すこと。） ネフローゼ症候群患者を対象とする。本研究全体で 1500 人の解析を予定する。東北大学病院小児科では 40 人程度を分担し、そのうち 20 人程度で既存試料を使用する予定である。
研究の目的、意義 小児ネフローゼ症候群は、小児慢性腎疾患のなかで最も頻度の高い難病である。しかし小児ネフローゼ症候群の原因はいまだ明らかでない。また小児ネフローゼ症候群の治療にはステロイドや種々の免疫抑制薬が用いられるが、これらの薬剤に対する感受性は多様である。ネフローゼ症候群の疾患感受性遺伝子や薬剤感受性遺伝子を同定することで病因・病態の解明や治療に導く原因療法の開発、オーダーメイド医療の提供による治療成績の向上に寄与することが期待できる。
実施方法 小児ネフローゼ症候群の患者及び健常成人を対象として、臨床情報と検体を収集する。主として、パラメトリックモデルを用いたゲノムワイド SNPs 解析を行い、ゲノムワイド関連解析によって疾患感受性遺伝子及び薬剤感受性遺伝子を明らかにする。 試料・情報は解析のために神戸大学大学院医学研究科小児科学研究室に提供される。
研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法

ご希望があれば、研究計画の詳しい内容をお見せすることができます。ただし、他の試料提供者の個人情報に関わる部分や研究の独創性の確保に支障がでる場合には、内容をお見せできないことがあります。詳しくは下記の窓口までお問い合わせください。

個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「本研究に関する問い合わせ・苦情等の窓口」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】 <http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入しを情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合

本研究に関する問い合わせ・苦情等の窓口

研究機関名：東北大学病院小児科

担当者氏名：熊谷 直憲

電 話：022-717-7744

住 所：〒980-0872 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1